



開拓札幌 | 札幌の家の困りごと相談

FREE GUIDE

STOVE & HEATING EMERGENCY SHEET IN SAPPORO

札幌のストーブ・暖房 冬の緊急対応&修理相場 (エラー・灯油もれ)



「不完全燃焼」の表示がくり返し出ていませんか。
それは、原因を探す前に手を止めるサインです。
札幌の相談窓口が、切り分けと相場を1枚にまとめました。

＼ この資料で分かる3つ ／

- 1 自分でできるのは**5つまで**。ここから先は触らない、という**安全の線引き**とエラー表示の読み方
- 2 分解整備の**タイプ別 料金の目安**と、修理か買い替えかの分かれ目（**製造から10年**）
- 3 灯油タンクは**15年で漏れのリスク**。交換9万円台～に対し、漏らすと後始末は**100万円級**になることも

無料

印刷して、冬の前の点検にお使いいただけます



開拓札幌

札幌の家の困りごと相談窓口 | 札幌市全域対応

kaitaku-sapporo.com

LINEで無料相談を受付中

INTRODUCTION

原因を探す前に、 手を止めてほしいときがあります。

ストーブの不調は、たいてい落ち着いて切り分ければ大丈夫です。ただし、いくつかの症状だけは例外で、原因を探すより先に止めて換気してください。総務省消防庁によると、住宅・共同住宅での一酸化炭素中毒事故は令和2～6年の5年間で30件発生し、1月・12月に多く起きています。順番は①止める ②換気する ③それから調べるです。

1

「不完全燃焼」の表示がくり返し出る **すぐ止めて換気**

コロナのHC点滅、サンポット・長府のE-60/E-CC、トヨトミのE-60～63など。**排ガスが室内に漏れているサインのことがあります。**使用をやめ、窓を開けて換気し、業者へ。危険を感じる時は119番に相談する判断も大切です。

2

灯油くさい・煙が出る **火気厳禁**

強い灯油臭がするなら、まず火気を止め、元栓・コックを閉める。屋外のタンクから漏れているなら、**119番か最寄りの消防署へ通報**してください（札幌市環境局も明記）。灯油を洗剤で流したり、雪で隠したりしないこと。

3

自分でできるのは、5つまで **それ以上は分解しない**

①灯油の残量とコック ②フィルターの掃除 ③リセットを1回だけ ④給排気筒トップ・煙突出口の雪や氷 ⑤古い灯油を使っていないか。ここまでです。内部の分解、送油管の交換、給排気筒の取り外しは業者の領域です。

札幌の家の困りごと相談窓口

くらしの味方 開拓札幌 代表 成田 風輝

原因は大きく4つに分かれます。**燃料が届いているか／燃やせているか／排気できているか／感知できているか**。この順で見えていくと、自分で直せるものと、業者に頼むものが切り分けられます。

いまの症状	疑われる主な原因	まず確認すること（安全な範囲で）
まったくつかない	灯油切れ・タンクのcock・配管のエア噛み・古い灯油	残量とcock → 古い灯油でないか → リセット1回
つくがすぐ消える	フィルターの詰まり・給排気の閉塞	フィルター掃除 → 給排気筒トップの雪・氷
白煙・すすの臭い	燃焼系の不調・排気不良	止めて換気。自分で分解しない
不完全燃焼の表示	排ガスが室内に漏れている可能性	止めて換気 → 業者へ（使用を続けない）
「88」の表示	故障ではなく 点検時期のお知らせ	標準使用期間（約8年）に達したサイン

エラーコードは「行動別」に3つへ仕分ける ①**灯油・給排気を確認する系**（自分で対処できることがある） ②**リセット・再運転を試せる系**（一時的な安全停止） ③**即・業者行きの系**（内部の異常）。⚠️ **同じ番号でも、機種で意味が正反対になります**——コロナのE1は、ガス化温風タイプでは「疑似火災検出（すぐ修理）」ですが、寒冷地輻射タイプ・ポット式では「途中消火（灯油切れなら給油後に再運転可）」。

必ず**お使いの機種の説明書**で確認してください。

ここから先は、触らないでください □**本体を開けて内部を分解する** □**給排気筒・煙突を外す** □**送油管（ゴム製）を自分で交換する**。日本ガス石油機器工業会（JGKA）は、ゴム製送油管を**2～3年を目安に交換、屋外での使用は禁止**としており、交換は業者に依頼するものとされています。

分解整備の相場と、頼み先の探し方



PRICE GUIDE

分解整備（オーバーホール）の目安は2～3年に1回、時期は夏～秋。9月以降は依頼が混み合い、完了まで1か月以上かかることもあります。下表は札幌の公表料金と全国相場（税込・2025年3月時点の公表料金。最新は各社で要確認）。

ストーブのタイプ	札幌の実額例	全国の相場目安
煙突式（小型・角型／中型）	19,800円／20,900円	15,000～22,000円前後
FF式（小型／中型）	20,900円／23,100円	20,000～26,000円前後
FF式（大型）	26,400円	25,000～30,000円前後
FF式ガス化（アグレシオ等）	25,300円	24,000～26,000円前後
床暖付き（煙突式／FF式）	31,900円／33,000円	30,000～35,000円前後

基本料金のほかにかかることがある費用 パッキン類の部品代＝3,500～7,000円程度／芯交換／出張費・引き取り料（無料の業者もあります）。依頼のときに「費用が増えそうなときは、作業前に連絡してほしい」と一言伝えておくと安心です。

修理か買い替えかは「製造から10年」が節目

10年を過ぎるとメーカーの部品供給が終わっていることが多く、分解整備や修理を断られる場合があります。交換が必要な部品も複数見つかりやすく、整備の合計額が買い替えに近づくことも。逆に10年以内で状態がよく、部品が手に入る機種なら、整備して使い続けるほうが安く済みます。

札幌には、消防局の「届出事業者リスト」があります 灯油を使うストーブ・ボイラー等の取り付け・点検・整備をする事業者が、札幌市火災予防条例 第70条にもとづき届け出た一覧で、区ごとに掲載（2026年5月1日時点で合計144社）。使い方は①自分の区で探す→②電話でメーカー・型番を伝え「対応できる機器か」を確認→③料金と進め方を聞く。

札幌市環境局によると、市内では**毎年100件以上の油漏れ事故**の通報があり、発生場所は**一般宅が最も多く全体の約4割**。そして配管からの漏えい事故は、**そのほとんどが設置後15年以上経過した施設**で起きています。



交換9万円台～ vs 後始末100万円級 どちらが安いかは、考えるまでもありません

寿命の目安は**15～20年**。標準的な交換工事は**9万円前後**（条件しだいで十数万円）。一方、漏らすと回収・土の処理は**原因者（持ち主）の負担**で、掘ってみるまで費用が読めず、**100万円近くに達した実例**もあります。



490リットルという半端な数字の理由 500Lから消防署への届出が必要

個人の住宅で灯油を**500リットル以上**ためる場合は、**所轄の消防署への届出と検査が必要**（札幌市火災予防条例 第71条）。主流の490Lタンクは、その一步手前に収めた容量です。ただし**490Lを2基（合計980L）置くと届出や流出防止措置の対象**になることがあります。

月1回・1～2分の予防チェック（札幌市環境局のチェック項目に沿って）
☐タンク本体にサビ・へこみ・変形はないか
☐脚や土台がぐらついていないか
☐ストレーナー・配管接続部ににじみはないか
☐タンクの下や周りの地面に油じみはないか
☐ホース・配管に傷やひび割れはないか
☐灯油の減りが以前より早くないか
最後の「減りが早い」は、とくに見逃せないサインです。冬は**落雪・雪の重みで配管が折れる**ことがあるので、雪囲いのひと工夫も効きます。

漏れてしまったら ①火気を止める・使わない ②元栓・コックを閉めて漏れを止める ③**119番が最寄りの消防署へ通報**（賃貸なら大家・管理会社にも）。**保険は「契約内容しだい」**——火災保険に破損・汚損の特約があれば設備側の損害が、個人賠償責任保険なら近隣への賠償が関わることがあります。「保険で全部まかなえる」と思い込まず、加入先に確認を。あわてているときほど業者選びは冷静に（困ったら消費者ホットライン「188」）。

セントラルヒーティングは、1台のボイラーで作った温水を配管で各部屋のパネルヒーターへ送るしくみ。止まると家じゅうが寒くなるのが、部屋ごとのFF式ストーブとの決定的な違いです。

よくある不調

考えられること

家全体が、前より暖まらない

熱源側の能力低下・循環の不良・不凍液の劣化

一部の部屋・パネルだけ冷たい

その系統の循環不良・エア噛み（エア抜きは機種しだい）

水漏れ・にじみがある

配管・接続部の劣化。放置すると被害が広がります

不凍液がいつのまにか減っている

どこかで漏れている可能性。交換の目安は3年に1回

料金の目安（札幌市内の公表例・税込／2026年時点） 出張・点検＝4,400円～／ボイラー保守点検＝16,500円～（作業45～60分。点検後1年間は本体の修理費が免除される例も）。暖房ボイラーの修理費は「間取りで〇万円」と決まるものではありません。1社の言い値で決めず、症状を診てもらったうえでの見積りで判断を。交換の目安は設置から10年、または部品供給の終了です。

本格的な不具合は「初雪のあと」に集中します

夏のあいだ止めていた設備を、寒くなって一斉に動かすからです。しかも12～2月はどの暖房業者も繁忙で、来てもらうまで待つことになります。だから9～10月のうちに試運転——スイッチを一度入れておくだけで、その心配はぐっと減ります。このタイミングで、古い灯油の入れ替え、2～3年ごとの分解整備、15年を過ぎたタンクの交換も済ませておくのが、いちばん賢い進め方です。

頼み先は3つ ①メーカー修理（コロナ・トヨトミ・長府〈旧サンポット〉など） ②地元の整備業者・燃料店（分解整備の中心） ③購入店（家電量販店・ホームセンター）。※「暖房の業者」と「給湯器（お湯）の業者」は別です。札幌の戸建てには1台でお湯も暖房もまかなう機種があり、混同しやすいので、依頼のときに「暖房側／お湯側のどちらか」を伝えてください。



エラー表示の写真1枚から、 お聞かせください。

パネルの表示や、タンク・配管の気になる場所を**1枚**送るだけで大丈夫。
「これは自分で直せる？」「業者を呼ぶべき？」「もう買い替え時？」——
どの段階のご相談でも構いません。ご案内するのは、対応できる機器と料金を
をはっきり示す業者を**1～2社だけ**。無理な営業はいたしません。

 **LINEで無料相談する**

LINE : lin.ee/YpRFf1p

まず「危険かどうか」から

不完全燃焼や灯油臭など、止めるべき症状かどうかを最初に確認します。急ぎのときは公的窓口もご案内します。

整備・修理・買い替えを中立に

製造年と症状から、直して使うほうが得か、買い替えが現実的かを、売る側でない立場で整理します。

営業電話ラッシュなし

一括見積もりサイトのように何社もの営業電話が鳴ることはなく、ご案内は条件に合う1～2社だけです。

札幌の中立の相談窓口

特定のメーカー・業者に肩入れせず、代表・成田が中立の立場でいっしょに考えます。ご相談は無料です。